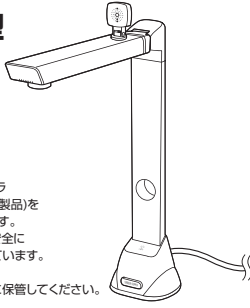


スタンドスキャナ型 USB書画カメラ (顔用カメラ付き) 取扱説明書



この度は、スタンドスキャナ型USB書画カメラ(顔用カメラ付き)「400-CAM096」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあとご取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①USB書画カメラ 1台
 - ②専用マット 1枚
 - ③撮影リモコン 1個
 - ④USBケーブル 1本
 - ⑤ドライバー-CD-ROM 1枚
 - ⑥取扱説明書-保証書(本書) 1部
- ※欠品や破損があった場合は、品番(400-CAM096)と上記の番号(①～⑥)と名称(USBケーブルなど)をお知らせください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地災、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 競渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておられません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合は送料はお客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社
型番: 400-CAM096	シリアルナンバー:	
お客様・お名前・ご住所・TEL		
販売店名・住所・TEL		
担当者名		
保証期間 1年	お買い上げ年月日	年 月 日

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

サンワダイレクト 〒7700-0825 岡山県岡山市北区福田1-10-1 TEL:086-223-5580 FAX:086-235-2381 CB/AP/HAD/No

目次

ご使用前に	<p>絵文字の意味 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)</p> <p>1.仕様 2.特長 3.各部の名称とはたらき 4.ご使用前の準備</p>
WEBカメラとして使用する	<p>5.マイクの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows 10の場合 macOSの場合 <p>6.Zoomでの使用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> Zoomの設定方法 ドキュメント用カメラの画面を共有する方法
書画カメラとして使用する	<p>7.付属のソフトウェア「CamBook」を使用する(Windowsのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ドライバーインストール方法 ソフトウェアの画面表示について 使用例 複数枚の書類をスキャンする 本を自動で連続してスキャンする 複数枚の名刺を一度にスキャンする 名刺を表裏両方スキャンして1つのデータにする

絵文字の意味

- 警告** 人が死亡または重傷を負うことが想定される危険な内容
- 注意** 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容
- !** 注意していただきたい内容

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

警告

- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておられません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 雷が鳴っているときに、本製品やケーブルに触れないでください。
 - ▲落雷により感電する恐れがあります。
- 本製品は電気で作動しておりますので、発火の危険があります。万一煙が出たり異臭がしたりした場合は、本製品及び接続しているパソコンや機器の電源を切り、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
 - ▲本製品を設置している環境によっては火災の原因となる場合があります。
- 本製品のケーブル、接続する機器のケーブルも、器具で断ったり、手で挟んだりしないでください。またこれらのケーブルを引っ張ったり折り曲げたりしないでください。
 - ▲火災や故障の原因となる場合があります。

注意

- お子様が本製品や付属品を口の中に入れてはいくにご注意ください。
 - ▲お子様のがかや、本製品の故障の原因となることがあります。
 - 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。
 - ▲故障や感電の原因となることがあります。
 - 濡れた手で本製品やケーブルに触らないでください。
 - ▲本製品がパソコンに接続されているときに、感電する恐れがあります。
 - ▲本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
 - ▲感電や火災、故障の原因となることがあります。
 - 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。
 - ▲故障・感電などの原因となることがあります。
 - 本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
 - ▲故障・破損などの原因となることがあります。
 - 本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。
 - ▲火災や故障の原因となることがあります。
 - 本製品は不安定な場所に設置したり、保管したりしないでください。
 - ▲落下により故障・破損の原因となることがあります。
 - 本製品のケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクタ部分を持ち、無理な力を加えないでください。
 - ▲故障・破損などの原因となることがあります。
 - 本製品のお手入れをする前には、パソコンから本製品のケーブルを抜いてください。
 - ▲感電や故障などの原因となることがあります。
 - 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
 - ▲塗装を傷めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本書の一部または全部を無断で複製、転載することは禁じられています。
 - 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。
 - 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。定期的にバックアップを取るなどの対策を行ってください。
 - 本製品は日本国内で作られております。日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
 - 本書に記載されている製品図や画面の図などは実際のもものと異なる場合があります。
 - 本書に記載されている内容について、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

1.仕様

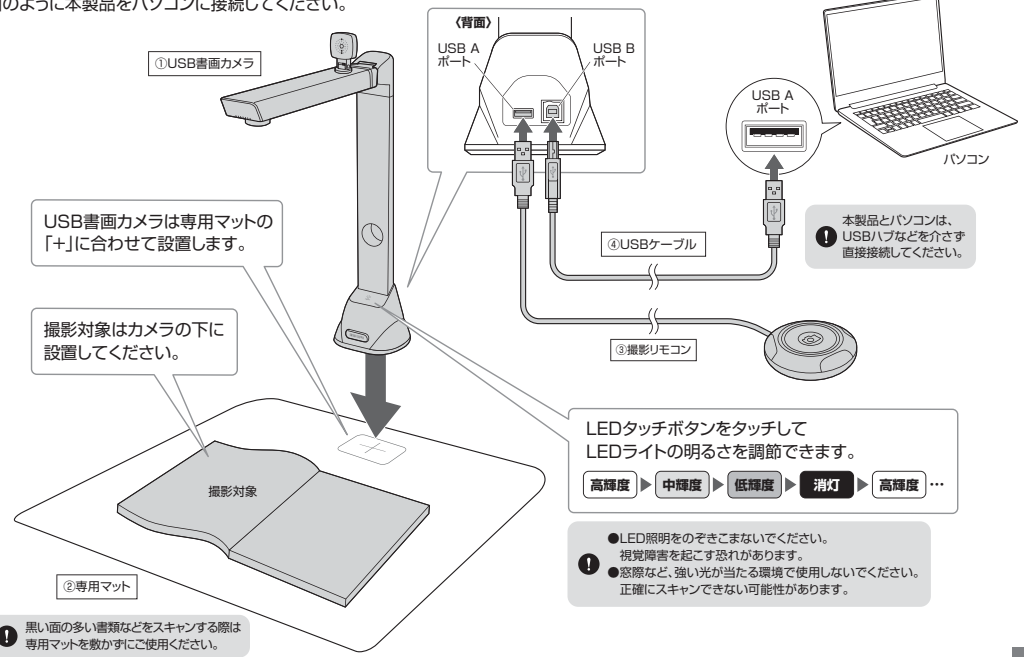
センサー	CMOSセンサー	フォーカス	固定
センサーサイズ	ドキュメント用カメラ:1/2.3インチ	顔用カメラ:1/4インチ	
画素数	ドキュメント用カメラ:1800万画素	顔用カメラ:200万画素	
インターフェース	USB2.0 Aタイプコネクタオス		
ビデオフォーマット	MJPEG	最低照度	30LUX以上
ビデオ解像度	ドキュメント用カメラ:最大4896×3680	顔用カメラ:1600×1200	
静止画解像度	ドキュメント用カメラ:最大4896×3680	顔用カメラ:1600×1200	
絞り明るさコントロール	自動	ホワイトバランス	自動
最短接写距離	ドキュメント用カメラ:22cm	顔用カメラ:30cm	
フレームレート	ドキュメント用カメラ:最大30fps	顔用カメラ:最大30fps	
消費電力	最大720mA	マイク	あり
サイズ・重量	W93.1×D293.3×H397.3mm	800g	
ケーブル長	2m	撮影サイズ	最大A3サイズ
対応OS	Windows 10・8.1・8、macOS 11、macOS 10.12～10.15 ※付属のソフトウェアはmacOSには対応しません。		

2.特長

- Zoomなどビデオ会議で手元を映すのに便利な書画カメラです。
- 上から撮影するだけでかざせばデータをデータ化できます。
- 雑誌を開いたまま撮影できるA3サイズの撮影が可能です。
- 200万画素の顔用カメラを内蔵しており、カメラを切替えることでこれ一台で顔と書類の撮影が可能です。
- LED内蔵で撮影物を明るく表示します。
- 画素数1800万画素で最大4896×3680の高解像度で撮影が可能です。
- 湾曲した冊子を買っ直ぐにする自動補正機能付きです。
- 複数並べた名刺を一気に読み込む撮影機能付きです。
 - ※名刺管理ソフトは付属しません。
- 冊子を開いたときに指で押さえる場合、自動的に指を消して保存する機能付きです。
- ページをめくった後に自動で撮影できます。
- 撮影に便利な専用マット付きです。
- 手元で操作できる便利な撮影リモコン付きです。

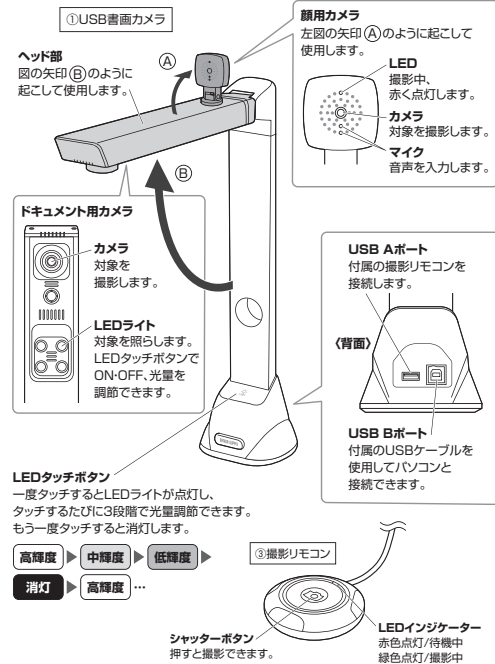
4 ご使用前の準備

図のように本製品をパソコンに接続してください。



ご使用の前に

3.各部の名称とはたらき



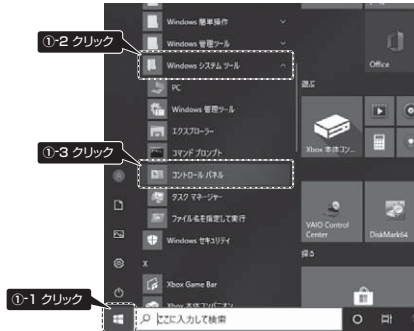
5 マイクの設定

※ご使用の環境、設定により表示画面は異なります。

- 1 アプリケーションを起動中にコネクタを差し替えたり、設定を変えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再度起動してください。
- 2 使用するアプリケーションによっては、アプリケーション側で「オーディオデバイスの設定」をする必要があります。

Windows 10の場合

- 1 画面左下のWindowsマークをクリックし、「[W]」の中の「Windowsシステムツール」から「コントロールパネル」をクリックしてください。



- 2 「サウンド」をクリックしてください。



- 3 「録音」タブの中からの「USB Camera」を選択し、「既定値に設定(S)」をクリックしてください。
- 選択したサウンドデバイスに🔊が付きます。

- 1 既に🔊がついている場合もあります。その場合、既定値に設定(S)はクリックできません。



- 4 右下の「プロパティ」をクリックし、「レベル」タブを開いて、レベルが0になっていないか確認してください。

- 5 「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了してください。

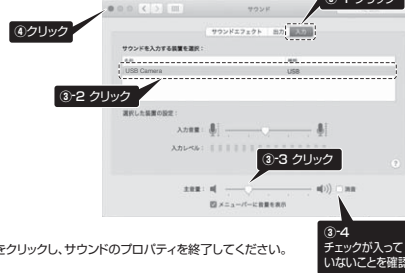
macOSの場合

- 1 アップメニューから「システム環境設定」をクリックしてください。



- 2 「サウンド」をクリックしてください。

- 3 「入力」のリストの中から、「USB Camera」を選択してください。
※この時、出力音量の調整と主音量の「消音」にチェックが入っていないかも確認してください。



- 4 左上の🔊をクリックし、サウンドのプロパティを終了してください。

6 Zoomでの使用方法

※下記の画面はWindows 10、Zoom ver.5.6.1のもので、ご使用の環境、設定により表示画面は異なります。 **!** あらかじめZoomをインストールし、サインインを行ってください。

Zoomの設定方法

- 1 ミーティング画面を開きます。
Zoomを起動し、「新規ミーティング」をクリックしてください。



- 2 マイクを設定します。
(1)「🔊」または「🔇」の横の「A」をクリックして表示されたメニューから「オーディオ設定...」をクリックしてください。



- 2 「オーディオ」の「マイク」から「USB Camera」を選択してメニューを閉じてください。

- ! ご使用のOS、バージョンにより表示される名称は異なる場合があります。



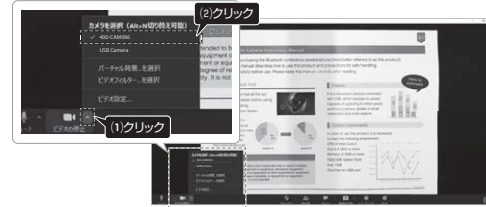
左下のアイコンが「🔊」の場合

- 「🔊」をクリックし、「コンピューターでオーディオに参加」をクリックしてください。アイコンが「🔇」に変更になり、マイクの設定が完了します。

- 3 画面に表示させるカメラを設定します。

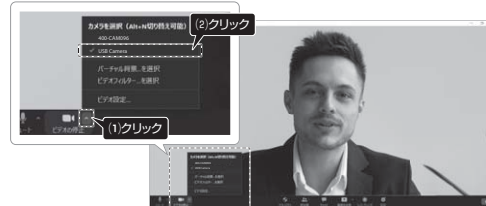
■ドキュメント用カメラの画面の表示方法

- 1 「🔍」の横の「A」をクリックしてメニューを表示させてください。カメラを選択から「400-CAM096」をクリックしてください。
- ドキュメント用カメラの映像が表示され相手に書類などを映すことができます。



■顔用カメラの画面の表示方法

- 1 「🔍」の横の「A」をクリックしてメニューを表示させてください。カメラを選択から「USB Camera」をクリックしてください。
- 顔用カメラの映像が表示され相手に自分などを映すことができます。



ドキュメント用カメラの画面を共有する方法

顔用カメラで人物を映しながら、ドキュメント用カメラで手元の資料を共有することが可能です。

- 1 「🔍」の横の「A」をクリックしてメニューを表示させてください。カメラを選択から「USB Camera」をクリックしてください。



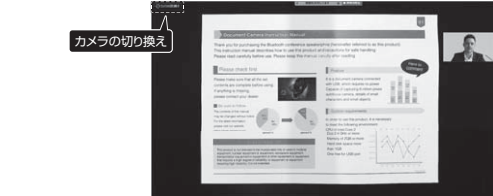
- 2 「画面の共有」をクリックしてください。



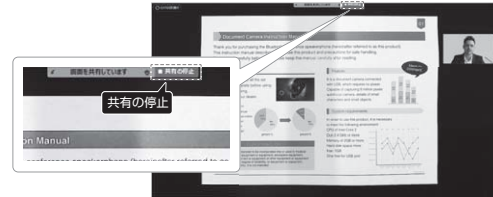
- 3 「詳細」タブをクリックし、「第2カメラのコンテンツ」をダブルクリックしてください。



- 4 画面にドキュメント用カメラの映像が表示され、画面右上に顔用カメラの映像が表示されます。ドキュメント用カメラの映像が表示されない場合、「カメラの切り換え」をクリックしてカメラを切り替えてください。



- 5 共有を停止する場合は、「共有の停止」をクリックしてください。

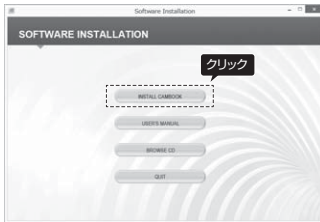


7 付属のソフトウェア「CamBook」を使用する (Windowsのみ)

ドライバーインストール方法

① 付属のドライバー-CD-ROMをパソコンにセットしてください。
 ※光学ドライブがない機種は、以下URL
https://direct.sanwa.co.jp/contents/driver/400-CAM096_Driver.zip
 にてドライバーをダウンロードしてください。

② 自動的にインストール画面が起動します。「INSTALL CAMBOOK」をクリックしてください。自動的にインストール画面が起動しない場合、CD-ROM内の「autorun.exe」をクリックしてください。

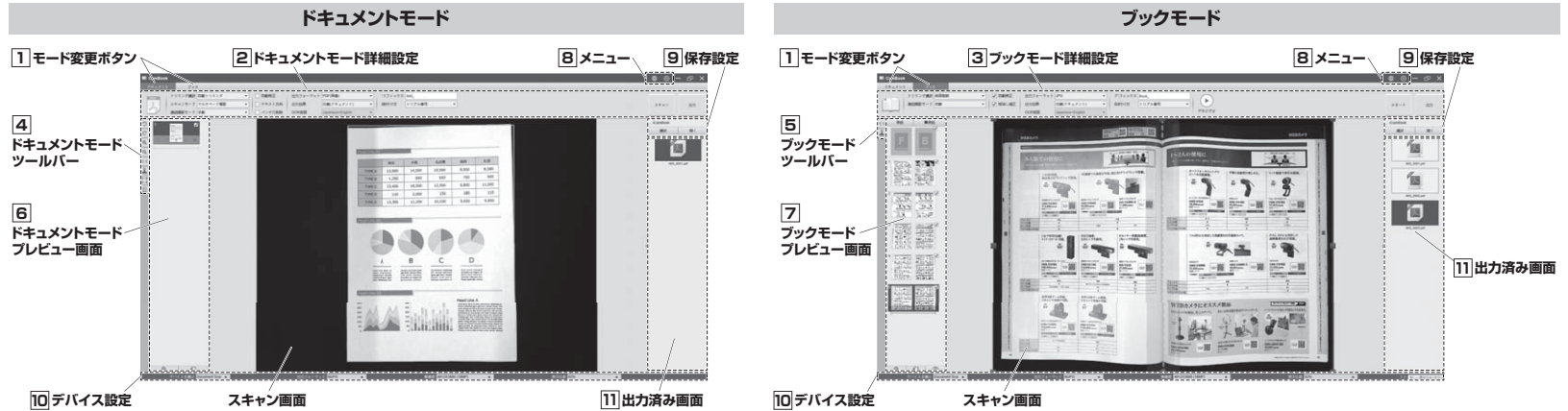


③ インストールが終わると、以下の画面が表示されます。「Yes,～」を選択した状態で「Finish」をクリックすると、パソコンが再起動し、ソフトを使用できるようになります。



ソフトウェアの画面表示について

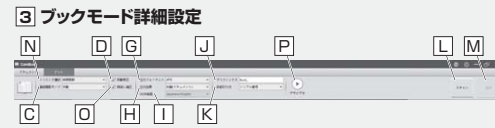
「CamBook」を起動すると、以下の画面が表示されます。書類などをスキャンする「ドキュメントモード」と本をスキャンする「ブックモード」からモードを選びます。 ※左上の [] モード変更ボタンでモードの切替えができます。



1 モード変更ボタン
 ●ドキュメント / 書類をスキャンするにはこのモードにします。
 (名刺をスキャンする場合もこのモード)
 ●ブック / 本をスキャンする場合はこのモードにします。



名称	機能
A トリミング選択 (ドキュメントモード)	自動トリミング: 書類1枚を自動でトリミングします。 自動トリミング(マルチ): 名刺など、複数の枚数を自動でトリミングします。 トリミング無し: トリミングしません。 セルP設定: 自分で撮影できる範囲を設定できます。
B スキャンモード	片面撮影: 書類を1ページ撮影します。(プレビューはできません) マルチページ撮影: 複数枚の書類を撮影します。 両面撮影(水平合併): 2枚の書類を左右に並べて、撮影できます。 両面撮影(垂直合併): 2枚の書類を上下に並べて、撮影できます。
C 連続撮影モード	手動: 手動でスキャンボタンを押すことで撮影できます。 自動: スキャンボタン(スタートに変化)を押すと自動撮影を開始します。 ページをめくる毎に、カウントが始まり自動撮影します。 タイミング(5秒)、タイミング(7秒): 指定の秒数毎に連続で撮影します。 ※[B]スキャンモードをマルチページ撮影にした場合のみ選択できます。
D 自動修正	チェックを入れると、書類の端の切れなどを自動的に修復します。
E テキスト方向	チェックを入れると、ページの傾きをテキスト方向に合わせて修正します。
F ハンチ穴閉除	ハンチ穴を消します。
G 出力フォーマット	BMP/Excel(ドキュメントモードのみ)、JPEG/PNG(ブックモードのみ)、EPUB(ブックモードのみ)、Text/Word: それぞれのフォーマットに保存します。 PDF(画像): 画像としてPDF化します。 PDF(検索可能): 検索可能な文字データとしてPDF化します。図やイラストが入っている場合はこちらを選択してください。 PDF(テキスト): PDFでテキストを変更でき、検索可能な文字データとしてPDF化します。文字のみのデータを取り込む場合はこちらを選択してください。
H 出力効果	白黒(ドキュメント): 通常の白黒の書類を読み込む時に使用します。(白黒を強調) 白黒(二値化): 白と黒でのみ読み込みます。(グレー部分なし) 白黒(赤スタンプ): 白黒と赤でのみ読み込みます。(判子が押された書類に便利) カラー(原色): カラーで読み込みます。 カラー(強調): カラーで読み込みます。(強調した色で読み込みます) グレースケール: グレーで読み込みます。
I OCR言語	OCR言語を選択できます。書類のテキストと同じ言語を選択してください。
J プリフィックス	データのタイトルの先頭に付与する文字列を設定できます。
K 名前付け方	プリフィックスの後に表示する番号を設定できます。 [シリアル番号]にすると連番でデータ名が設定されます。
L スキャン	スキャンを開始します。[C]で手動以外を選択すると「スタート」に変化します。その場合「停止」を押すとスキャンを終了します。
M 出力	プレビュー画面で選択されているデータを出力、保存します。



※ [C] ~ [M] は [2]ドキュメントモード詳細設定と同じです。

名称	機能
N トリミング選択 (ブックモード)	曲面裁断: 湾曲した画像を補正します。(通常はこちらを選択) ※紙面の湾曲の度合いによっては正しく補正されない場合があります。 長方形裁断: 曲面を補正せずにスキャンします。 ※2枚目からトリミング方法を変えることはできません。 トリミング方法を変える場合はプレビューに保存された画像を全て削除してください。
O 指消し補正	チェックを入れると本を押さええている指を自動で削除します。 ※印刷が紙面の端まであるような本では指が消えません。
P デモビデオ	スキャン方法のデモビデオを見ることができます。

4 ドキュメントモードツールバー

アイコン名	機能
左回転90度	左方向に90°回転します。
右回転90度	右方向に90°回転します。
拡大	拡大します。
縮小	縮小します。
1:1表示	全体表示、100%画面サイズの切替えができます。
画面に合わせる	
透かし	書類に「社外秘」や「サンプル」などの透かしを表示します。
手動トリミング	手動で画像をトリミングできるようになります。 スキャン画面の緑色の枠をドラッグして調節できます。

※一番下のWEBカメラのアイコンは使用しません。

5 ブックモードツールバー

アイコン名	機能
1:1表示	全体表示、100%画面サイズの切替えができます。
画面に合わせる	
透かし	書類に「社外秘」や「サンプル」などの透かしを表示します。

6 ドキュメントモードプレビュー画面
 スキャンした画像を簡易的に見ることができます。一時的に表示されているデータとなりますので、データとして保存する場合は画面右上の「出力」を押します。出力はチェックマークの入った画像が全てまとまったデータとなります。 ※「マルチページ撮影」の場合の表示です。詳しくは [2]参照。

アイコン名	機能
左回転	左方向に90°回転します。
右回転	右方向に90°回転します。
上へ移動	上のデータと位置を入れ替えます。
下へ移動	下のデータと位置を入れ替えます。
削除	特定データを削除します。
クリア	プレビューにある全ての画像を削除します。
すべてキャンセル/選択	すべての画像にチェックマークを外す、またはつけます。

7 ブックモードプレビュー画面
 スキャンした画像を簡易的に見ることができます。一時的に表示されているデータとなりますので、データとして保存する場合は画面右上の「出力」を押します。出力はチェックマークの入った画像が全てまとまったデータとなります。

アイコン名	機能
上へ移動	上のデータと位置を入れ替えます。
下へ移動	下のデータと位置を入れ替えます。
削除	特定データを削除します。
クリア	プレビューにある全ての画像を削除します。
すべてキャンセル/選択	すべての画像にチェックマークを外す、またはつけます。
置き換え	ブックモードプレビュー画面のスキャンした画像を選択して押すとスキャンされ、データが置き換わります。

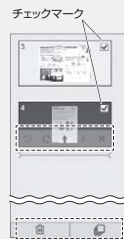
8 メニュー

アイコン名	機能
言語	表示させる言語を選択できます。
設定	その他の設定ができます。

9 保存設定
 ●選択 / 保存先を選択できます。
 ●開く / 保存先のフォルダを表示します。

10 デバイス設定
 デバイスの選択、出力フォーマット・解像度・表示比率の変更が可能です。

11 出力済み画面
 出力したデータを表示します。表示されている画像を右クリックすると、「開く」、「コピー」、「リネーム」、「削除」などの操作ができます。
 ※出力したデータは [2]で設定した保存先に保存されます。



表紙、裏表紙をスキャンする際を選択



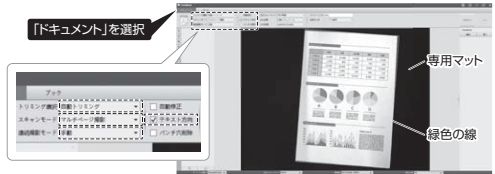
チェックマーク

7 付属のソフトウェア「CamBook」を使用する (Windowsのみ) (続き)

複数枚の書類をスキャンする

①書類を専用マットに置き、モード変更ボタンを「ドキュメント」にしてください。トリミング選択を「自動トリミング」、スキャンモードを「マルチページ撮影」、連続撮影モードを「手動」、テキスト方向にチェックを入れてください。書類の周りが緑色の線で自動的にトリミングされます。

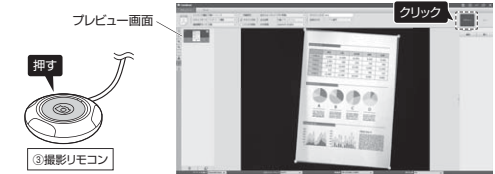
②必ず書類の周りに専用マットが見えるように置いてください。(スキャン画面から書類をはみ出さない)



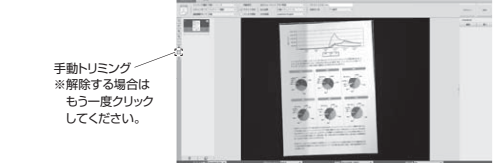
③書類の周りの緑の線が自動的にトリミングされますが、もし書類と緑の線に隙間がある場合は、ツールバーの「手動トリミング」を選択してください。緑の線の角を引っ張ってトリミング位置を調節してください。



④右上の「スキャン」をクリック、または撮影リモコンを押してください。スキャンが行われ、プレビュー画面に画像が表示されます。

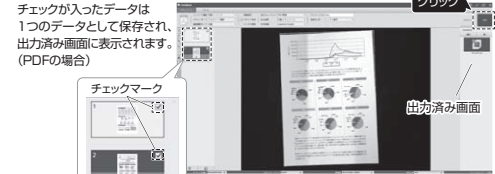


⑤次の書類を置いたら、④と同じように自動トリミング、手動トリミングを設定してトリミングしてください。



⑥右上の「スキャン」をクリック、または撮影リモコンを押してください。スキャンが行われ、プレビュー画面に画像が表示されます。

⑦必要な書類のスキャンが終わったら、出力したいデータにチェックが入っていることを確認してから「出力」をクリックしてください。



本を自動で連続してスキャンする

①モード変更ボタンを「ブック」にしてください。トリミング選択を「曲面裁断」、連続撮影モードを「自動」にしてください。



②本を開いて専用マットに置いてください。センターラインに、ページとページの境目を合わせてください。



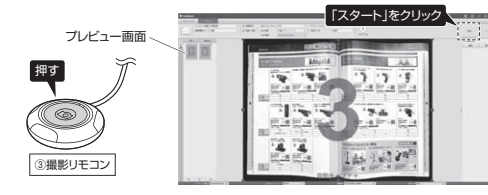
① スキャン時の注意

必ず本の周りに専用マットが見えるように置いてください。(スキャン画面から本をはみ出さない)

ページの端まで印刷されている本の場合は補正できないので指で押さえないでください。

センターラインにページとページの境目を合わせてください。

④右上の「スタート」をクリック、または撮影リモコンを押してください。3秒のカウンタダウン後、スキャンされ、プレビュー画面にスキャン画像が表示されます。



⑤ページをめくると自動的にまたカウンタダウンが始まり、スキャンされます。

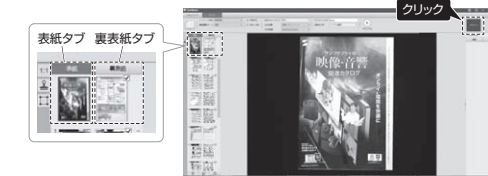
⑥同様にプレビュー画面にスキャン画像が表示されます。



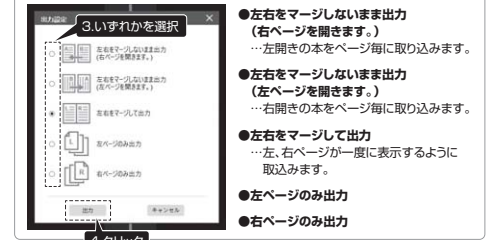
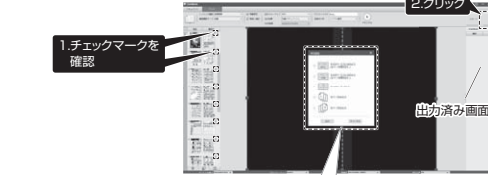
⑧スキャンしたいページを④を繰り返してスキャンしてください。撮影を終了する場合は「停止」をクリックしてください。



⑨表紙を撮影する場合は「表紙タブ」、裏表紙を撮影する場合は「裏表紙タブ」を選択し、「スキャン」をクリック、または撮影リモコンを押してください。スキャンが行われます。



⑩スキャンデータを選択してデータを保存します。プレビュー画面の保存したいデータにチェックを入れて「出力」をクリックしてください。下記のような出力設定の画面が表示されますので、いずれかを選択し、「出力」をクリックしてください。保存されたデータは出力済み画面に表示されます。

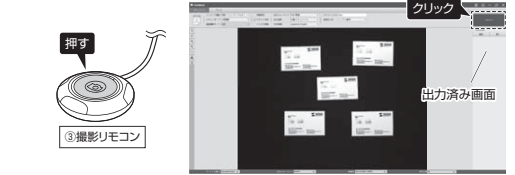


複数枚の名刺を一度にスキャンする

①名刺を複数枚並べ、モード変更ボタンを「ドキュメント」にしてください。トリミング選択を「自動トリミング(マルチ)」、スキャンモードを「片面撮影」、テキスト方向にチェックを入れます。



②「スキャン」をクリック、または撮影リモコンを押してください。スキャンが行われ、保存されたデータは出力済み画面に表示されます。名刺1つ1つが独立したデータができあがります。



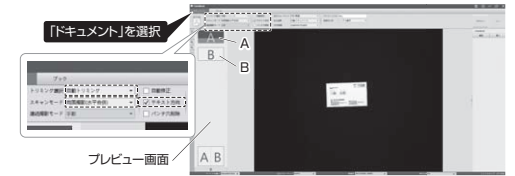
① スキャン時の注意

必ず名刺を1枚は中央に配置して撮影してください。中央に配置しないと、露出の調節がうまくいきません。



名刺を表裏両方スキャンして1つのデータにする

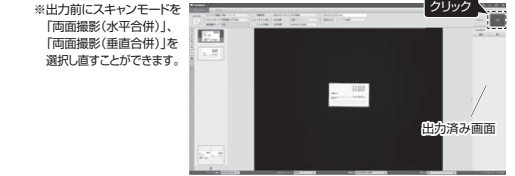
①名刺を1枚中央に置き、モード変更ボタンを「ドキュメント」にしてください。トリミング選択を「自動トリミング」、スキャンモードを「両面撮影(水平合併)」または「両面撮影(垂直合併)」、テキスト方向にチェックを入れます。 ※水平合併だと名刺が縦に、垂直合併だと縦に並ぶデータになります。



②プレビュー画面のAが選択された状態で「スキャン」をクリック、または撮影リモコンを押すとスキャンが行われます。Aにスキャン画像が表示されます。

③名刺を裏返し、プレビュー画面のBが選択された状態で「スキャン」をクリック、または撮影リモコンを押すとスキャンが行われます。Bにスキャン画像が表示されます。

④「出力」をクリックしてください。保存されたデータは出力済み画面に表示されます。



名刺の裏表が並んだデータができあがります。 ※右記は水平合併で、横に並んだデータです。